



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 TEL288-7420

令和5年1月10日(火) NO.9

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心

『Z世代の君たちへ』

校長 永井 隆和

新年、明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。引き続き、学校と家庭・地域が一体となり子どもたちの健全育成に取り組みたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、収束の兆しが見えないまま年を越し新年を迎えました。いつ、どここの学校で感染者が増加してもおかしくない状態ですので、これまで同様、学校としてできる感染症対策を愚直に進めてまいりますので、ご家庭のご協力を改めてお願いします。

さて、最近何かにつけてよく耳にする「Z世代」という言葉。効率性や自分らしさを重視する世代と言われています。X世代、Y世代以上に結果について気にしたり、こだわる傾向があるのかもしれませんが。「各世代の区切り一例」 「Z世代の傾向」



今月のテーマは、そんなZ世代の皆さんに向けた「努力」についてです。

6年ほど前、リオ五輪で女子レスリング決勝で吉田沙保里選手が敗れた後、フィギュアスケートの羽生結弦選手はこんな言葉を残しています。

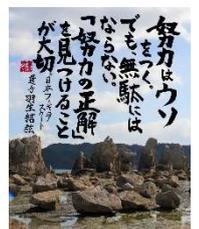
「努力はウソをつく。でも無駄にはならない。努力がウソをつかないんだったら、やっぱり練習量を一番している人が毎回、毎回優勝できるでしょう。オリンピックでも…どんなに努力している人でも、勝てない時は勝てないんだなと思った。逆に本当に若い選手が、勢いで取っちゃうことも。そういう意味で、努力はウソをつく。努力の正解を見つけることが大切。」

「努力は裏切らない、ウソはつかない。」という言葉に慣れていた私は、なるほどこんな考え方もあるのだと納得しました。スポーツであろうが勉強、仕事であろうが成功はかけた時間に比例するものではありません。ですが、努力しなければ成功は手にできないことだと思います。ならば、羽生選手が言う、努力の正解を見つけるとはどんなことなのでしょう。例えばこんなことでしょうか。

- 一、目標を達成しようと本気で、日々努力すること、決意すること
- 二、目標が達成できなかった時、新しい目標に向かって再挑戦（再スタート）すること
- 三、本気で喜んだり、悔しく思える自分に出会えること

今の目標は、人生のゴールではありません。大会で優勝することも、高校入試で合格することもです。けれども、手を抜かず令和5年も失敗を恐れず挑戦する1年にしましょう。

今の自分を超えるために。（この言葉を残した1年半後、羽生選手はピョンチャン五輪で大けがを乗り越え、金メダルを獲得しました。）



保護者の皆様には、今後とも本校の学校運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、お子様の健康や学習面などで気になることや相談したいことがございましたら、遠慮なくご連絡ください。

◆◆◆ 津幡南中校区ネットサミットから学んだこと：3点固定を習慣に！ ◆◆◆

「3点固定」とは、1日のスケジュールのうち、起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間の3つの時間を毎日固定するという生活習慣の考え方です。自分の意志で決められる時間を固定し、生活を規則正しくすることは、自分自身をコントロールする力の育成につながります。

特に中学生にとっては、学力向上や受験勉強は当然ながら、社会人になって仕事に取り組むようになった時にも欠かせない、大変重要な習慣、能力となります。3点固定を通じて自分をコントロールする力を身に付けることが、この先の自分自身にとって大きな武器となります。

*ネットサミット締結書の「スケジュールを作成し、全員で協力して取り組む」を、自分たちの力で!!

★生徒指導より 生徒の皆さんへ★

1月の生活目標

新たな気持ちで、3学期（新年）をスタートさせよう



3学期は次年度に向けた準備の学期 = 0学期!

3学期の修了式まで、学校へ登校する日は、51日! 3年生は、卒業式まで43日!

< TRY と CHALLENGE >

1年生は、どんな「先輩」になるのか? 2年生は、どんな学校の「顔」になるのか? 3年生は、どんな「高校生」になるのか? 4月の自分を想像して、3学期も【挑戦】をキーワードに取り組んでいこう。



ちなみに、【挑戦】と聞いて、思い浮かぶ英単語は、「TRY」と「CHALLENGE」ですね。どんな違いがあるんだろう? 「トライ」は「新しいことに対してうまくいくか試してみる」という意味です。「チャレンジ」は「高いレベルのものごとに挑戦すること」という意味です。トライは「**ちょっとやってみようかな?**」チャレンジは「**よし、がんばるぞ!**」と言った具合でしょうか。

ここでいう【挑戦】は、どちらもあてはまると思います。とにかく「行動すること」が大事です。行動すれば何かが変わってくる。行動しなければ、何も変わりません。試すことから、挑戦することから、分かることや身につくことはたくさんあります。その分かったことや身についたことなどがあなたの成長になります。

3学期（0学期）も「TRY」と「CHALLENGE」が多い学期にしよう。

★学習指導より 生徒の皆さんへ★

《 新たな学校、学年へのステップアップのために! 》

いよいよ新年度に向けての大きな準備期間である3学期が始まります。3年生にとっては、自分の将来につながる進路決定の時期となります。これまでの学習の成果を発揮できるよう、これまでの努力を自信に変えられるよう、一日一日を大切にしていきましょう。

1月の学習目標について

学習のルールを確認しよう

話す	頭括型の話し方で発表しよう
聞く	発言者を見ながら、自分の意見と比較して聴こう
ルール	忘れ物0、ベル学、終始の挨拶

終始の挨拶について

今年度に入り、新型コロナウイルス対策をしながら、様々な行事を復活させてきました。授業終始の挨拶についても、これまでは無言での挨拶としていましたが、休み時間と授業の切り替えのためには、言葉を発することはとても大切なことです。『始めます』『終わります』と言葉にすることで、より効果的に気持ちを切り替えることができるからです。そこで、次のように変更します。

授業終始のあいさつ

を気持ちよく行い、学習の雰囲気をつくるために

- 「起立」の号令で**座席の右横に立つ**。(しっかりあいさつができるように)
- 椅子を入れ、服装を整える。(気持ちを引きしめて授業を始めるために)
- 先生が一步さがったら、「礼」の号令。(先生の合図を見て号令をかける)
- 授業の始まりは「始めます」と、さわやかに元気にあいさつをする。
授業の終わりは「終わります」と、さらにさわやかにあいさつをする。
※朝HRの始まりは「おはようございます」帰りHRの終わりは「さようなら」